

ヴァーラステ・エストニア・日本協会会長への叙勲

4月29日、日本政府は平成27年春の外国人叙勲受章者85名を発表しました。エストニア・日本協会のヘイキ・ヴァーラステ会長には、日本・エストニア間の友好親善及び相互理解の促進に寄与した顕著な功労が認められ、旭日中綬章が授与されることになりました。

- 勲章：旭日中綬章
- 功労概要：日本・エストニア間の友好親善及び相互理解の促進に寄与
- 氏名（年齢）：ヘイキ・ヴァーラステ（71歳）
- 主要経歴：元 駐日エストニア大使館臨時代理大使
元 外務省アジア担当参事官
現 エストニア・日本協会会長
- 住所（国籍）：タリン市（エストニア）



ヴァーラステ会長は、長年にわたり日本・エストニア間の友好親善及び相互理解の促進に貢献してきました。ヴァーラステ会長は、エストニア科学アカデミー・サイバネティクス研究所及び化学生物学的物理学研究所に研究科学者として勤めた後、タリン工科大学の物理学准教授として高温超伝導体に関する研究に従事しましたが、その間も、一貫して日本語の習得に努めるとともに日本の文化と社会への造詣を深めていきました。

平成4年に、ヴァーラステ会長は、日本との友好関係を促進すべく、エストニア・日本協会を設立するとともに、外務省に入省しました。平成5年には、日本の関係者の協力の下、タリンの高校に言語ラボのある日本語クラスを立ち上げました。ヴァーラステ会長は、駐日エストニア大使館の開設に尽力し、平成8年から平成10年にかけて臨時代理大使として勤務し、その任期中の平成9年に行われたレンナルト・メリ大統領の訪日を成功に導きました。

ヴァーラステ会長は、日本側の日本・エストニア友好協会とも緊密に協力しつつ、常にエストニア・日本協会の活動に献身的に携わりました。平成11年に日本側の協会から桜の苗木200本がタリン市とタルトゥ市に寄贈された際には、ヴァーラステ会長はその受入れ準備にあたり中心的な役割を果たしました。また、平成19年、天皇皇后両陛下のエストニア御訪問に際し、エストニア・日本協会の会長として両陛下をお迎えするための準備を積極的に進めました。

エストニア・日本協会の主催による生け花展、茶の湯、俳句の会、日本料理教室、日本の演奏会等のような日本文化行事において、ヴァーラステ会長は、日本についての深い造詣を生かし、重要な役割を果たしています。(了)